

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 歎喜山学園 木町幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・「わたし」を大切に、「みんな」も大切にする子ども
- ・いっぱい「あそび」、自分の“好き”を見つけられる子ども
- ・豊かな感性をもち、自分の考えや気持ちを表現できる子ども
- ・健やかな心と丈夫な体をもつ子ども

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、これらにそった評価項目について、自己点検および自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り、教育内容の改善に取り組む。

保育の質の向上と先生たちの働き方を考え実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
1.保育のあり方	B	・1人1人の発達によりそった援助を心がけた、主体的な活動ができるよう環境を整えた。目の前の子どもたちの姿から自分たちの保育を振りかえる。
2.保護者への対応	A	・保護者への連絡を密に行い、信頼関係を築いた。 ・保護者との信頼関係が構築できることで、潤滑な保育を行うことが可能となり、よって、子どもの成長により影響があるように心がけた。
3.感染症対策と保育	B	・幼稚園での活動が制限される中、臨機応変な対応ができるように、教職員が一丸となり、保育活動全般を展開した。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
C	・コロナ禍で教職員が自己点検評価した結果をもとに、自信や幼稚園の課題が分かってきた。これらを反省し、次年度に目標を持ち実践することで、昨年につき、コロナ禍の幼稚園生活において、子どもたちがよりよく生活し、成長を見せてくれることで、保護者や教職員も共に変わるものと考えている。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1.教職員間の連携	・教職員全体の意識統一を大切にする。教員間の連携を構築しやすくする。 個々の仕事をしやすくする。
2.特別支援	・子ども1人1人の発達を十分に理解し、具体的なねらいを設定して指導をする。
3.地域との連携	・地域との連携に努める。(例：清掃活動、小学校との連携など)

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・教職員が子ども 1 人 1 人の育ちを受け止め、子ども 1 人 1 人に配慮がなされている。
- ・保育の質の向上のための研修に参加し、今後は、これらの内容を保育に反映する。
- ・感染症対策に関しては、今後も実践していく必要がある。
- ・地域での朝の清掃や登校している小学生への声かけは続けてほしい。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

委員会実施日

令和 5 年 3 月 31 日